



## —「第4回 くすのきの会」が開催されました—

平成29年10月29日に当院GCU・NICUを退院されたお子さまとご家族の会「くすのきの会」を開催しました。この「くすのきの会」は境遇の似たご家族が育児の悩みや不安を共感し、先輩家族等と情報交換を行う機会を提供すること、またご家族同士のネットワーク作りを目的に開催し、今年第4回となりました。



今回は出生体重1500g未満、または双胎で産まれた、0～2歳・4～5歳のお子さまとご家族を対象に行いました。24家族、74名が参加されました。

キッズ広場では、子ども1人1人に担当スタッフが付き添い遊びました。保育士による手遊びや制作コーナーや読み聞かせなど、年齢に応じた遊びを取り入れ、ボールプールやプレイマットで体を動かして自由に過ごしました。慣れない場所やスタッフに警戒し、最初は緊張気味の子ども達でしたが、次第に打ち解けあい、楽しそうな笑い声があちらこちらから聞こえるようになりました。スタッフとずっと手を繋いで過ごしている子どももいました。



お母さんとお父さんは別会場でグループワークを行いました。ご両親で参加される方もたくさんおられました。低出生体重児で産まれた家族が2グループ、双胎児で産まれた家族が2グループで、ご家族同士お話をさせていただきました。お話の内容としては、お母さんが産科に入院した経緯や入院中の様子、赤ちゃんが産まれた時の様子やNICU・GCUに入院していた時の気持ちといった当時を振り返るものから、お風呂や食事について・保育所での様子・母親自身の職場復帰についてなど、現在から今後を見据えた内容など様々でした。同席した私達看護師は、ご家族の不安や喜び、努力や工夫などを知ることができ、たくさんの愛情を注ぎながら日々子育てに奮闘されているのだなと改めて感じる事が出来ました。



会の最後には、毎年恒例の ALOHA12 による楽しい人形劇を鑑賞し、参加者で記念撮影をしました。



今回参加された子ども達が元気に大きくなっている姿、それと同時にたくましくなっているご両親にお会いでき私達スタッフはとても嬉しく、そして、かけがえのない時間を過ごすことができました。

今後も「くすのきの会」がご家族の皆様にとって語り合いや情報交換の場となれるよう提供していきたいと考えています。

ご参加いただいた皆様、そしてボランティアとしてご協力いただいた学生の皆様、ALOHA12の皆様、ありがとうございました。

